

災害統計グローバルセンター(GCDS)がモルディブのフィールド調査を実施しました (2019/3/2-4)

テーマ：災害統計の整備、国際連携
場所：モルディブ共和国 関係機関

2019年3月2-4日の3日間に渡り、災害統計グローバルセンター(GCDS)では国連開発計画(UNDP)と共同で、モルディブ共和国におけるフィールド調査を実施しました。当研究所からは、小野裕一教授、佐々木大輔助教、田中秀実研究員(以上、情報管理・社会連携部門)が参加しました。

今回の調査では、関係機関(国家防災庁(National Disaster Management Agency)、国家統計局(National Statistics Bureau)、国家計画省(Ministry of National Planning and Infrastructure)、モルディブ国立大学(Maldives National University)など)を訪問し、災害統計の現状と取組、研究の進捗状況等についてヒアリングを実施するとともに、当該国における今後の展開について活発な議論を行いました。

災害統計グローバルセンター(GCDS)では引き続き、国際協力機構(JICA)やUNDP、富士通株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社等の幅広い主体との連携を密に取り、世界の災害統計の発展と防災力向上に向けて、学際的・分野横断的に研究・活動を進めていきます。



国家防災庁での会合



国家計画省での会合



UNDP モルディブオフィスにて